



光進製品はこんな所でも活躍しています。



夢の大吊橋道路安全システム



九重町ホームページ航空写真より

橋の中央部に設置された
風向風速計 →



2006年9月に大分県玖珠郡九重町に人が渡れる橋では日本一の大きな吊橋が完成しました。観光客の渡橋に際しての安全を図るために風向風速が設置されました。

■ 風向風速計発信器は吊橋の中央部に設置されています。

■ 警報機能があり、あらかじめ設定された風速値になるとブザーなどによる自動警報を発することが出来ます。

■ 風向風速計発信器は信頼性の高い風車型を使用し、伝送はシリアル方式を用いています。

九重夢の大吊橋緒言

- ・ 標高 : 777m
- ・ 長さ : 390m (日本一)
- ・ 高さ : 173m (日本一)
- ・ 総工費 : 19億2,200万円



光進製品はこんな所でも活躍しています。



消防気象観測システム



近年、消防本部でもIT化が推進され、消防気象情報装置もコンピュータで管理され、いろいろな関係施設ともネットワークで結ばれています。

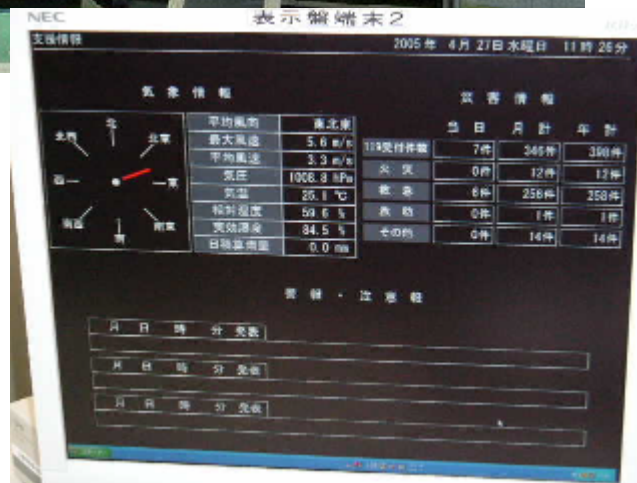
■ 消防警報システムと気象情報システムがすべてコンピュータ管理され、総合表示盤として機能しています。

■ 火災現場からの第一通報で火災位置情報や消火活動指令がリンクされ、各関連団体への通報が迅速に行われます。

■ 風向風速や温度、実効湿度などの気象要素のほか地震情報も表示され、避難経路の指示も出すことができます。

■ 複数の場所への分岐表示が可能です。

■ カメラによる映像も操作卓で見ることが出来ます。





光進製品はこんな所でも活躍しています。



鉄道気象観測システム



自然災害から乗客の安全を確保するために風向風速や雨量、地震等の観測データを収集し、鉄道の運行監視管理に活躍しています。

■ 各観測局の現地データは5分後とに専用回線を通じて中央制御所のサーバーに送られます。

■ 地震の発生、風速、雨量、水位(橋桁下)の計測には、予め設定した警報値を越えた場合や観測機器に異常が発生したときは画面での表示アラームの他ブザーやチャイムなどの鳴動で報知も行います。

■ 各種処理データは、LANで接続されたクライアントのPCでも中央制御所と同等のリアルタイム表示を見ることが出来ます。





光進製品はこんな所でも活躍しています。



農業気象観測システム



農業の生産性と自然のかかわりは大変重要な関わりを持っています。最近では農業の工業化という言葉も生まれているように施設内〈ビニールハウス〉での栽培増えています。

こうした農業のための施設環境を適切にするために気象を観測しそのデータによって室温制御や天窓の開閉制や室温御などをするシステムです。

- 気象観測装置は小型軽量の信頼性高いセンサを使用しています。
- 屋外の簡易キュービクル〈筐体〉内のデータロガに記録され各種演算が出来ます。
- 各種処理データは、有線、無線、LANなどの伝送網により農業現場の気象データを試験場内の研究室で確認することが出来ます。



光進製品はこんな所でも活躍しています。



防災気象観測システム



自然災害から住民の安全を確保するために風向、風速や雨量、温度、湿度、気圧等の観測データを収集し、各観測局のデータを町役場の監視局に集めて状況監視管理に活躍しています。

■ 各観測局の現地データは専用回線を通じて中央制御所のサーバーに送られます。

■ 各気象データはデジタル表示器に表示され更にパソコンなどの周辺機器に出力され、いろいろな防災に関する演算や警報地の雪低処理などを行います。

■ パソコン上では各地域のデータを地図上に表示し、刻々と変化する気象情報をモニターすることが出来ます。



光進製品はこんな所でも活躍しています。



AMeDAS用風向風速計



気象庁では全国約1300箇所に無人の地域気象観測システム（AMeDAS）を配備し、気象データのネットワークを構築しております。その観測要素のひとつである風向風速計を当社でも納入しています。

■ 無人の全自動観測ですので欠測は許されません。そのため高い信頼性が求められます。

■ 風車(プロペラ)型の風向風速計は、気象庁ご指導により、国内では当社が初めて開発いたしました。